

本ガイドラインの読み方

※1
CQ：推奨度(推奨グレード)を問う疑問として回答が可能な臨床的疑問
Q：「CQ」以外の臨床的疑問(推奨グレードは付さない)

CQ 3-1 糖尿病の血糖コントロールのために食事療法を推奨すべきか？

【ステートメント】

● 1型糖尿病および2型糖尿病の血糖コントロールのために食事療法が推奨される^[1~25]

[推奨グレード A] **[合意率 100%]**

推奨グレード
 グレードA：強い推奨
 グレードB：弱い推奨
 グレードU：推奨度決定不能
 (推奨するだけの根拠が明確でない)

策定委員会での投票による合意率
 70%以上の合意をもって推奨グレードを採択

エビデンスレベルの階層構造

デザイン名称	英語 / 説明	エビデンスレベル
MA/SR	Meta-Analysis (メタ解析 [メタ分析]) / Systematic Review (系統的レビュー) 質の高いMA/SR (下記をすべて満たす) ・バイアスリスクは低い ・臨床疑問に直接答えている ・研究結果はほぼ一致している ・誤差は小さく正確な結果である ・出版バイアスは疑われない 質の低いMA/SR ・上記5項目のうち満たさない項目がある	1+ 2
RCT	Randomized Controlled Trial (ランダム化比較試験) 質の高いRCT (下記をすべて満たす) ・バイアスリスクは低い ・臨床疑問に直接答えている ・誤差は小さく正確な結果である 質の低いRCT ・上記3項目のうち満たさない項目がある	1 2
前向きコホート	Prospective Cohort Study	2
事前設定 RCT サブ解析	Pre-Specified Sub-Analysis of RCT	2
後ろ向きコホート	Retrospective Cohort Study	3
ケースコントロール	Case-Control Study	3
事後的 RCT サブ解析	Post-Hoc Sub-Analysis of RCT	3
単群試験	Single-Arm (Self-Controlled) Trial	3
横断研究	Cross-Sectional Study	3
症例集積・報告	Case Series/Case Report	3

※2
 この文献のエビデンスレベルは？

[引用文献]
 ステートメント・解説本文中でエビデンスとして採用した文献
 [参考とした資料]
 ガイドラインや厚労省報告書、総説、レビューなどの資料

文献

- [引用文献]
- 1) Simões Corrêa Galendi J, Leite RGOF, Banzato LR, Nunes-Nogueira VDS. Effectiveness of strategies for nutritional therapy for patients with type 2 diabetes and/or hypertension in primary care: a systematic review and meta-analysis. Int J Environ Res Public Health 19: 4243, 2022 [レベル 2]
- [参考とした資料]
- a) American Diabetes Association Professional Practice Committee: 5. Facilitating behavior change and well-being to improve health outcomes: standards of medical care in diabetes-2022. Diabetes Care 45: S60-S82, 2022

アブストラクトテーブル [3章]

論文コード	対象	方法	結果	バイアスリスクは低い か (MA/SR, RCT 共通)	臨床疑問に 直接答えて いる (MA/SR, RCT 共通)	研究結果は ほぼ一致し ている (MA/SR のみ)	誤差は小さ く正確な結 果か (MA/SR, RCT 共通)	出版バイア スは疑われ ない (MA/SR のみ)
1) Simões Corrêa Galendi J, 2022 MA [レベル 2]	2型糖尿病または高血圧。成人、39報のRCT(内訳、2型糖尿病30報、高血圧症9報)。2型糖尿病27報での総症例数7,437名、SRの実施期間2019年まで、個別研究の実施地域：日本人を対象とした研究を含む	プライマリケアにおいて、栄養療法の教育の血糖コントロールに対する効果は食事習慣に介入しない群と比較し検討した。栄養療法として置き換え食、地中海食、低炭水化物食、ベジタリアン食などのプログラムを用いた教育を行った	2型糖尿病において栄養療法の教育のHbA1cに対する効果はMD -0.37% (95% CI -0.57, -0.17, I ² 85.8%, 総症例数7,437名, 27報, moderate quality of the evidence)であった	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい

※1：CQごとに「ステートメント」、Qごとに「ポイント」を示している。CQのステートメントには推奨の強さとしての「グレード」を表記している。グレードは左記の3段階で表示している。

※2：ステートメントには、根拠となる文献(エビデンス)を引用している。CQのステートメントに引用された文献は、左記「エビデンスレベルの階層構造」に基づいてエビデンスレベルを決定し、各項末の文献・アブストラクトテーブルにそのレベルを表示している。

○グレードとエビデンスレベルは関連性があるものの、ステートメントの内容によってそれぞれ検討しているため、すべてに相関性があるものではないことに留意されたい。